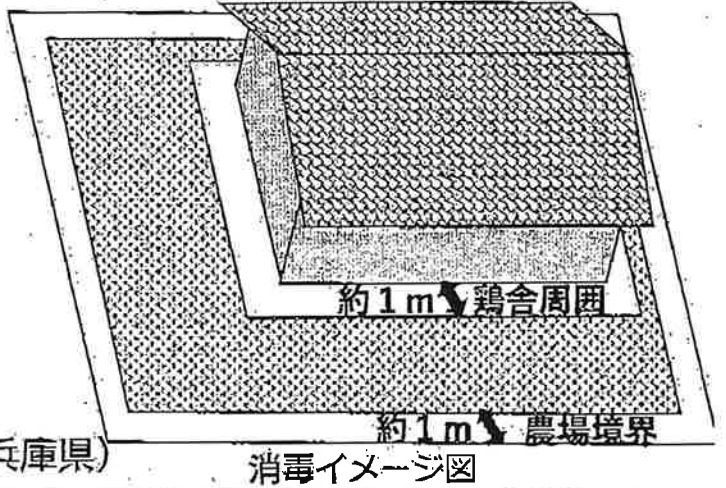


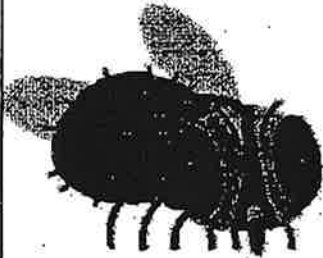
## 高病原性鳥インフルエンザ対策の徹底を！

今シーズンの発生事例をもとに、国の疫学調査チームが注意すべき点をまとめました。以下をチェックして、皆さんの農場での発生防止対策を徹底しましょう。

- ・家きんでの発生 4県4事例  
(佐賀県、茨城県、埼玉県、鹿児島県)
- ・野鳥での発生 20都道県76事例
- ・飼養鳥での発生 2県2事例 (岐阜県、兵庫県)



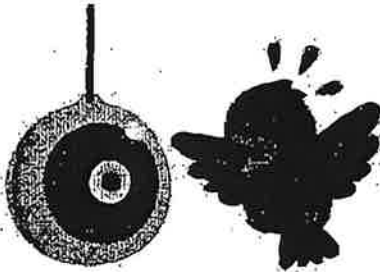
### 飼養衛生管理基準の遵守



クロバエ

- ・毎月チェックを行っている7項目の再確認
- ・野鳥及び野生動物対策 (ネットや家きん舎の修繕)
- ・害虫やネズミ対策 (粘着シートの設置)

### 感染予防対策



鳥よけ

- ・家きん舎の周囲、農場周囲を消毒しましょう。
- ・農場の周囲に水鳥が飛来するような河川などがある場合は、さらに対策を徹底しましょう。

### 早期発見・早期通報



- ・地域へ感染が広がらないようにするためには、早い段階でまん延防止措置を行うことが重要です。異状が認められた際は、すぐに管轄の家畜保健衛生所へ御相談ください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895  
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402  
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826

## 年末年始・春節時期の防疫対策を徹底しましょう！

高病原性鳥インフルエンザについては、渡り鳥の我が国への飛来ルート上にある韓国において発生事例が増加しているなど、引き続き、防疫対策の徹底が必要です。

また、近隣諸国では、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生が継続・拡大しており、特にアフリカ豚熱は日本と台湾を除くアジアで継続的に発生が確認されていることから、国内への侵入リスクは依然高い状況です。



飼養衛生管理者の研修動画をアップしています！随時更新中

URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g66/eiseimovie.html>



### 自分の農場を守るため次の対応を徹底して下さい！

#### ○海外渡航の自粛

- ・アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航は可能な限り自粛すること

#### ○外国人技能実習生等への指導徹底

- ・日本に入国後一週間は、農場内に入れない
- ・海外で使用した衣服、靴等は農場内に持ち込ませない
- ・出身国から肉製品等を送付させないよう、実習生に指導する

#### ○衛生管理区域及び畜舎への病原体持込み防止の再徹底

- ・衛生管理区域専用の作業着及び専用靴を使用する（共通）
- ・農場内に関係者以外を立入らせず不要な物品を持ち込ませない
- ・やむを得ず持ち込む場合は消毒を行う（共通）
- ・農場出入り時の車輛消毒を徹底する（共通）
- ・畜舎専用の作業着（豚）・長靴を使用（豚、鶏）又は消毒（牛）し、出入り時に手指消毒や手袋交換を行う（共通）
- ・畜舎、防護柵、防鳥ネット等を点検し破損箇所を修繕する（豚、鶏）
- ・除草や不要物を撤去し、ねずみ及び害虫を寄せ付けさせない（共通）

#### ○早期発見・早期届出の徹底

- ・毎日の健康観察を入念に行い、家畜に異状が認められた場合は、速やかに、かかりつけの獣医師又は管轄の家畜保健衛生所へ連絡してください

※全ての疾病は、ワクチンだけでは防除出来ません。ワクチンがある疾病でも、ワクチンを過信せず日頃の衛生管理を徹底しましょう。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826